

# 令和7年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 5 環境の保全と快適で安全なまちづくり

<b>主要課題</b>	No. 41	誰もが暮らしやすいまちのバリアフリー化の推進
-------------	--------	------------------------

<b>● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●</b>		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4年後の目指す姿	多様な区民が利用する生活関連施設と、生活関連経路の一体的なバリアフリー化が進展している。	
計画期間の方向性	○バリアフリー基本構想の推進 バリアフリー基本構想の目標年次である令和7年度に向け、中間評価の結果も踏まえ、地区別計画に基づく特定事業の進捗管理を行うとともに、道路や施設等のバリアフリー化を一体的に推進します。	

事業費（令和6年度） 上段：実績 下段：当初予算

<b>1 どのような事業で何をしたか（実績）</b>		戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。							
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割						事業費(千円)
144	バリアフリー基本構想推進事業	都市計画課	重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進する。						5,213千円 (5,226千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 特定事業の進捗確認	着手事業数 完了事業数	件 件	507 228	517 239				
145	バリアフリーの道づくり	道路課	すべての人が円滑に移動できる道路環境を整備する。						261,234千円 (249,557千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 生活関連経路に指定された区道（一次経路及び歩道のある二次経路）のバリアフリー整備率		%	15.0	17.6	20.2			
146	無電柱化の推進	道路課	高齢者や障害者、ベビーカー利用者などが移動しやすい歩行空間を確保する。						524,480千円 (495,887千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 日医大つつじ通りの無電柱化事業進捗率		%	52.3	60.2	68.2			
	② 巻石通り（第一期）の無電柱化事業進捗率		%	57.1	65.7	74.2			
	③ 巻石通り（第二期）の無電柱化事業進捗率		%	—	—	9.0			
	R5(2023)	無電柱化事業は、埋蔵文化財調査等により、一部遅れが生じています。							
R6(2024)	無電柱化事業は、埋蔵文化財調査等により、一部遅れが生じています。								
147	公園再整備事業	みどり公園課	高齢者・障害者・子育てをしている人などにとっても、利用しやすい公園を整備する。						59,617千円 (303,594千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 公園再整備意見交換会		回	5	6	15			
	② 公園再整備工事		園	4	3	2			
148	元町公園整備事業（旧元町小学校との一体的整備）	みどり公園課	高齢者・障害者・子育てをしている人などにとっても、利用しやすい公園を整備する。						456,633千円 (753,072千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 整備工事進捗率		%	—	17.5	66.5			
149	竹早公園整備事業（小石川図書館との一体的整備）	みどり公園課	高齢者・障害者・子育てをしている人などにとっても、利用しやすい公園を整備する。						— —
	主な取組実績								
	R5(2023)	小石川図書館と一体的に整備するため、各施設の整備方針等について、竹早公園・小石川図書館一体的整備基本計画（中間のまとめ）として整理しました。							
R6(2024)	竹早公園・小石川図書館一体的整備基本計画（中間のまとめ）について、パネル展示型説明会や区民ミーティングを開催しました。								

●特記事項（実績の補足）

2 社会ではどのような動きがあったか  
（社会環境等の変化）

人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。

チェック	チェック項目
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）
無	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）

3 成果や課題は何か（点検・分析）

1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。

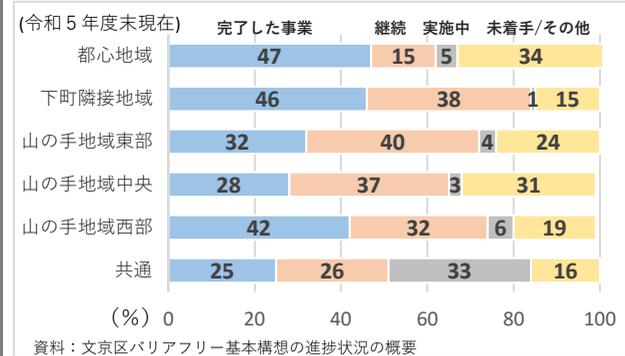
○バリアフリー基本構想の推進

特定事業の着手・完了事業数は年々増加傾向にあることから、引き続き、更なる事業推進を働きかけていきます。

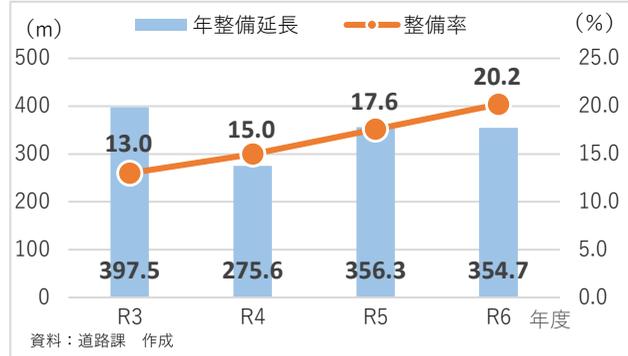
令和7年度は文京区バリアフリー基本構想の目標年次となるため、最終評価を実施し改定を行います。区道第843号（坂下通り）及び区道第807号（文京盲学校前）の2路線において、歩道の勾配や段差を改善するバリアフリー整備が完了しました。

公園再整備工事では、移動円滑化整備基準に適合した園路等の施設を整備し、バリアフリー化の推進を図りました。

●各地域における特定事業等の進捗状況



●生活関連経路に指定された区道のバリアフリー整備率



【SDGsの視点】

<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	多様な区民が安心・安全に利用できるよう、道路・公園のバリアフリー整備を進めました。
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	特定事業の着手・完了事業数が増加しており、高齢者、障害者等の移動及び施設利用の利便性及び安全性が向上しています。 多様な区民が安心・安全に利用できるよう、道路・公園のバリアフリー整備を進めました。
<p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>	バリアフリー基本構想、地区別計画に基づき行政や民間事業者が主体的に事業を推進し、バリアフリーの実現を図っています。 行政・区民・事業者等が一体となってバリアフリー基本構想の改定を進めていきます。

4 今後どのように進めていくか（展開）

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、今後の戦略としての進め方を記しています。

バリアフリー基本構想地区別計画に基づく特定事業の進捗管理を行い、更なる事業推進を働きかけていきます。また、バリアフリー基本構想の改定に向け、バリアフリー基本構想推進協議会や、アンケート調査、ワークショップ等における意見を踏まえ、検討していきます。

区道のバリアフリー化については、年間350mを目標として、バリアフリー整備を進めていきます。また、公園再整備事業等により、園路やトイレ等公園施設のバリアフリー整備を進めていきます。